

# 福島のおゆき国会日誌

## < 高速道路料金制度にみる日本の停滞の原因 >

5月31日、参議院本会議で、改正道路整備特別措置法が可決・成立しました。多くのマスメディアは、高速道路が有料となる期間が、最長で2115年まで延長されたなどと報道しています。これまで衆議院国土交通委員会で私は何度も指摘してきましたが、高速道路料金制度の問題の根幹は、「有料化か将来の無料開放継続か」ではありません。料金収入だけで建設費を回収するという「償還主義」を続けるかどうか、です。

仏かろつと土灰している高速道路無料化は、償還主義を廃して過去の建設費を建設国債に付け替えることです。新たに建設する高速道路は、公共事業として既存の道路との体系的整合的な整備を行います。オプションとして、500円などの定額の「通行料」を徴収して維持管理に充てるなどの方策はありますが、これは償還主義の下での「有料化」とは異なります。

償還主義を廃すると、存在理由がなくなるのが多くの国土交通省出身者を受け入れている NEXCO（高速道路会社）です。NEXCO が出資する子会社や孫会社になると、その数は膨大になります。だから、国土交通省はこの問題の本質的な解決に手を付けたがりません。大きな政治判断が必要です。

このような戦後の政治システムそのものを変えなければ、本質的な制度改正をできません。本質的な制度改正を平成の時代以降できていないことこそが、日本の停滞と国民の貧しさに繋がっています。今年4月5日の国土交通委員会での質疑を YouTube でご覧ください。



## < インドの外交戦略の根底にある文明観 >

5月30日、与野党の国会議員が加盟する日米欧総合安全保障議員協議会では、駐日インド大使のシビ・ジョージ閣下をお招きしてインドの外交戦略についてご講演いただきました。

インドはグローバルサウスの雄として、常に国際政治の対立構造の中で多極的な繋がりを持ち続けています。それは安っぽい「中立策」などではなく、インドならではの深い文明観と歴史認識に基づいています。

シビ・ジョージ閣下ご自身もインド国内外の様々な大学や研究機関で学識を積み、外交の現場でキャリアを積み重ねたプロの外交官です。単なる学力ではない、豊富な教養や経験を持ったエリートです。こうしたプロフェッショナルがいるからこそ、多極的な外交をすすめることができるのでしょう。



## < 石橋湛山に学ぶ 政治家の素養と教養 >

1日、超党派の石橋湛山議員連盟の初めての会合が開かれ、「石橋湛山オタク（自称）」として数々の石橋湛山の著作を英訳してきたダイク・リチャード氏から、石橋湛山の政治家としての根源にある哲学についてお話を伺いました。米国のプラグマティズム思想家のジョン・デューイの影響など、縦横無尽に語られました。

今のような時代の政治家に必要なのは哲学の素養と教養であることを痛感します。こうした勉強会に集まる議員たちは、党派を超えて同じ思いを共有しております。既存の政党の枠組みを超えた新しい政治の地平を切り拓くために、行動してまいります。

## < YouTube 安富歩 東大教授との対談 >

久しぶりに安富歩東大教授と対談をいたしました。昨今の政治情勢も含めゆるく話しています。ぜひご覧ください。

